

施策分析シート（平成27年度）

No1

施策名	広聴機能の充実	施策No	13-02	部課名	総務企画部秘書課		
				課長名	秦野	内線 2160	
関連部課名	総務企画部総務企画課・秘書課						
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
目的	区民のニーズを把握するために、要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実を図り、区民の立場に立った区民本位の区政の実現をめざす。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		24年度	25年度	26年度			
	①						
	②						
	③						
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み		目標値(28年度)
	①	「区民の声」 収受件数（件）	1239	1353	1249	1200	-
	②	「区政世論調査」 有効回答数	1022	1364	1337	1375	1375 回収率55%を目標とする
	③	Eモニターの委嘱者数（人） （27年度も実数）	111	84	67	64	100
④							
⑤							
現状と課題（指標分析）	<p>○区長への手紙・区長へのはがき、電話、来所、FAX、電子メールにより、区民からの意見・要望、質問などを受け付け、所管課へ対応依頼及び回答を行っている。</p> <p>○区政世論調査は、荒川区に居住する満20歳以上の区民2,500人（20年度までは1000人、21～23年度1,300人、24年度は1,500人）を対象に実施している。</p> <p>○あらかわ・Eモニターは、インターネットを使用したモニター制度で、①モニター専用掲示板への書き込み（随時、区への意見、要望を寄せる）②アンケート調査③パブリックコメントへの協力などを行っている。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○「区民の声」と「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に今後とも効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動の充実を図る。</p> <p>○Eモニター制度は、「区民の声」や「区政世論調査」を補完する事業として、広聴活動が行え、即時性、費用対効果の点からも優れており、モニター数の増加を目指し、より多くの区民意見を聴取する。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高い。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		25年度	26年度	27年度	28年度	
あらかわタウンミーティング	01-01-10	0	0	継続	継続	これまでと異なる広聴機能であり、内容を充実した上で、継続実施していく。
パブリック・コメント制度の推進	01-01-15	0	0	継続	継続	要綱に基づき、適切に実施する。
あらかわ・Eモニター	01-02-07	74	50	継続	継続	他の広聴機能を補完する事業として、リアルタイムで意見の聴取ができ、また即時性、費用対効果の点からも優れている。
区政世論調査	01-02-08	1,993	1,880	推進	重点的に推進	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業である。
区民の声	01-02-09	8	7	重点的に推進	重点的に推進	「区民の声」は広聴の中核をなす最も効果的かつ重要な手法である。区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
合 計		2,075	1,937			